EU Indicators

欧州経済指標コメント：10-12月期ユーロ圏ＧＤＰ速報値

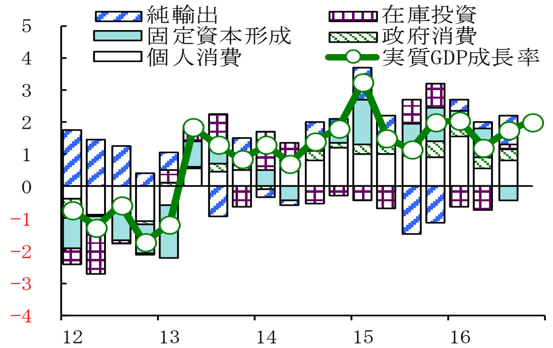
発表日：2017年2月1日（水）

～成長加速で政治リスクを封じ込めろ～

第一生命経済研究所　経済調査部
主席エコノミスト　田中　理
03-5221-4527

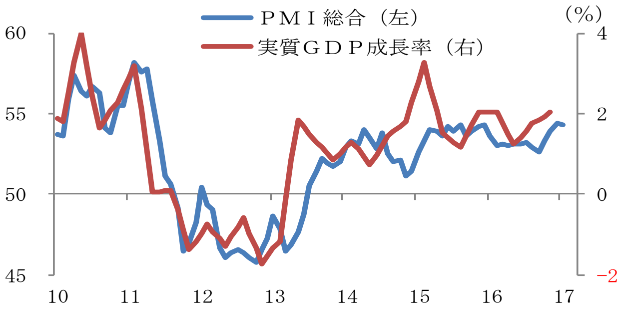
- １月31日に発表された昨年10-12月期のユーロ圏の実質ＧＤＰ成長率の速報値は、前期比＋0.5％、同年率＋2.0％と前期（同＋0.4％、同年率＋1.8％）から成長率が加速し、15四半期連続のプラス成長を記録。2016年通年の成長率は＋1.7％と前年（＋1.9％）に続き１％台前半の潜在成長率を上回った。なお、速報段階ではユーロ圏全体の実質ＧＤＰのみが公表され、国別の成長率は14日の改定値で、国別・需要項目別の内訳は３月７日の再改定値で明らかとなる。
- 公表済みの国別の実質ＧＤＰ成長率は、フランス（7-9月期：同＋0.2％→10-12月期：同＋0.4％）の成長率が加速し、スペイン（同＋0.7％→同＋0.7％）が前期並みの高い成長を維持した。月次統計の推移から判断して、14日に発表されるドイツの成長率も7-9月期実績：同＋0.2％→10-12月期見込み：同＋0.6％程度に加速した模様。フランスの需要項目別内訳は、個人消費と設備投資が成長を牽引し、外需が小幅プラス、在庫投資が成長を押し下げ。同日発表の12月のユーロ圏の失業率が9.6％に低下し、債務危機発生以前の2009年央の水準に復帰。雇用情勢の改善が消費回復を支えている。
- 年明け以降の成長は、１月のユーロ圏のＰＭＩが高成長持続を示唆する横這い圏で推移する一方、同月のドイツのＩｆｏ景況感が低下するなど、先行きの業況判断がやや慎重化している。また、足許のインフレ加速を受け、家計の実質購買力が目減りすることもあり、成長ペースの鈍化が示唆される。

■ユーロ圏：実質GDP成長率（前期比年率、％）



出所：Eurostat

■ユーロ圏：ＰＭＩ総合指数と実質ＧＤＰ成長率



注：実質ＧＤＰ成長率は前期比率。
出所：Markit、Eurostat

■ユーロ圏ＧＤＰ（前期比年率＜％＞、括弧内は寄与度＜％ポイント＞）

	名目ＧＤＰ	実質ＧＤＰ	内需	個人消費	政府支出	固定資本投資	在庫	外需	輸出	輸入
15/1-3月期	4.5	3.3	(2.3)	1.8	1.4	7.3	(▲ 0.4)	1.0	11.1	9.7
15/4-6月期	2.7	1.5	(0.6)	1.8	1.6	▲ 0.0	(▲ 0.7)	0.9	4.7	3.1
15/7-9月期	1.9	1.1	(2.7)	1.7	1.7	3.2	(0.7)	▲ 1.5	1.0	4.8
15/10-12月期	4.0	2.0	(3.2)	1.6	2.4	5.2	(0.7)	▲ 1.1	3.3	6.4
16/1-3月期	2.7	2.0	(1.7)	2.8	2.3	1.5	(▲ 0.6)	0.4	0.6	▲ 0.2
16/4-6月期	1.7	1.2	(1.0)	1.0	1.5	4.6	(▲ 0.7)	0.2	4.7	4.6
16/7-9月期	3.2	1.8	(1.8)	1.4	1.2	2.0	(▲ 0.0)	▲ 0.1	2.4	2.8
16/10-12月期	―	2.0	―	―	―	―	―	―	―	―

出所：Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。